

出会い・見守り・突然の別れ・新たな出発 ～足して100歳の元「ヤンキー」同級生トーク

5月26日(日)

予約不要
参加自由

お話：14時～16時 **会場本堂**

お話し：植月 じゅん子さん(写真右) & 後藤 美雪さん(写真左)

植月じゅん子さんと後藤美雪さんは高校時代の同級生。いわゆる「ヤンキー」的な高校時代を送っていたそうです。植月さんは結婚して子育て中に岡本寺の「寺子屋」に子どもさんを参加させたり、ボランティアとしてかかわってくれたり、岡本寺とのつながりがありました。そんな経験から子どもの居場所を作りたいと、アステ川西の6階で「川西学習サポート i-coi(いこい)」という～子どもから大人が学びあう寺子屋 無料の学習スペース～を主催されています。



その活動の中で、岡本寺の仏画カレンダーの岡本航さんの一番初めの仏画の先生：松原由紀子さんと出会われます。猪名川町在住(右)植月じゅん子さん、(左)後藤美雪さんの松原さんは広い農地を一人で守っておられたのですが、歳を重ね、畑仕事が難しくなって来ておられました。植月さんは知人とともに松原さんの畑にかかわるようになりました。訪れるたびに松原さんとお話をし、徐々に親交を深めていきました。80歳を超える松原さんが体調を崩され、同級生の看護師：後藤美雪さんにSOSを送ります。そして、後藤さん・植月さんと畑のメンバーでの見守りがはじまります。「病院にはお世話になりたくない」という松原さんの気持ちを尊重して、入れ代わり立ち代わり、寄り添っていく中で、お互いの心の扉が少しずつ広がっていきました。そんなある日、「お風呂に入りたい」という松原さんの希望がありました。それが最期となってしまいました。後藤さんはこれを機に病院勤務の看護師をやめてしまわれました。今の制度の中では様々な制約が多すぎて、支援を必要としている人に必要な寄り添いが出来ないのが実情です。そこで「老・病の方が地域で生きるための看護師」をライフワークとしていきたいと「コミュニティナース」という活動を始めることになりました。元「ヤンキー」の同級生が既存の制度の中ではできないことに挑戦する新たな物語を岡本寺二十五三昧会の皆さんとともに始めたいのです。(住職 記)

◆参加無料・予約なし! どなたでも自由に参加できます! 詳しくはお寺までご連絡ください。(平日10時～16時)

主催：観瀧山 岡本寺 (こうほんじ) TEL.072-793-0203

〒666-0121 兵庫県川西市平野1-33-14 TEL/FAX072-793-0203 mail:vyku11976@nike.eonet.ne.jp

ホームページ <https://www.kohonji.jp> または **川西市岡本寺** **検索**



岡本寺QR